

屋内設置装置（SRE・SRU）での電力線配線工程削減の提案

*提案者：エクシオグループ(株)
九州支店 移動通信部門
(株電盛社)
長尾 竜治
anpin.honbu.gikai@en2.exeo.co.jp
☎0956-46-5037

【概要】

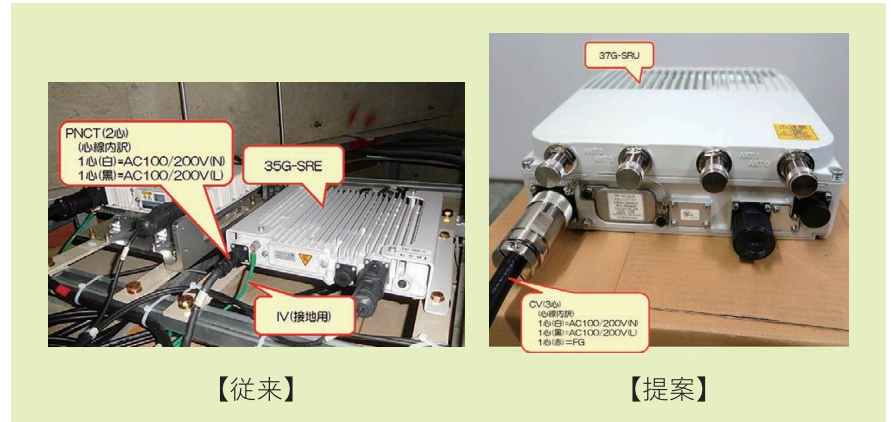
IMCS工事（屋内設置）で設置するSRE・SRUの接地ケーブルは、電源ケーブル（2心）とは別系統で接地ケーブル（1心）を配線・接続しています。

屋内設置する機器は雷害対策マニュアルに、FG接地・電源接地端子等、装置の接地端子が複数ある場合は、いずれか1つを接続すると規定されています。

SRE・SRU装置の電源コネクタ部は電

源2極と接地1極がピンアサインされており、電源ケーブル（3心）を使用することで、従来は別系統で布設していた接地ケー

ブルの工程が不要となり、総合的に材料費と労務費のコスト削減が可能になる提案です。



二重床ステップの改良

*提案者：日本コムシス(株)
NTT事業本部ネットワークシステム部
東日本ネットワーク事業部門
長谷川 誠
☎045-312-4206

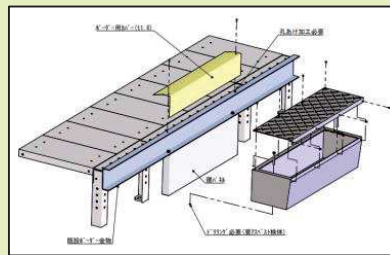
【概要】

二重床から床面に昇り降りする際に使用するステップの増設について依頼が増えており、コストを掛けず短時間で設置できるように二重床ステップの改良を行いました。

【改善効果】

- アンカーによる床面固定から既設二重床のボーダー金物へ取り付けすることで、ドリリング工程、それに伴うアスベスト検体調査を省くことができ、大幅なコスト削減、短期間での設置ができます。
- 既設二重床ボーダー金物の穴を利用し、ボルト締めのみで設置できる単純な構造となっており、既設二重床の加工、ドリリング等の技術を要する作業が不要です。
- ステップ本体は既設ステップと同じ部材を使用しており、移設等の要望に即応できます。
- ドリル等の回転工具を使用せずに設置ができ静電気による現用設備への影響等が避けられます。
- 回転工具による巻き込まれ人身事故も回避でき、より安全に施工ができます。

<改善前>



取付イメージ



取付後の写真

○設置方法

- ・アスベスト検体調査実施後、ドリリング工程
- ・アンカーボルトを用いて床面2カ所で固定

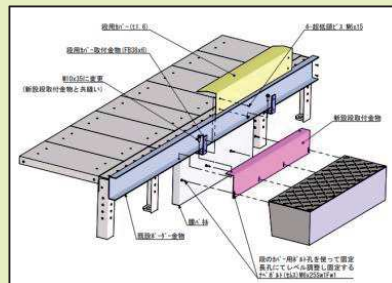
○作業時間

- ・アスベスト検体調査で約半日
- ・ドリリング工程で約30分

○作業性

- ・ドリリング工程で有人ビルでは夜間休日対応となる場合がある

<改善後>



取付イメージ



取付後の写真

○設置方法

- ・既設二重床のボーダー金物に固定

○作業時間

- ・ドリリング工程、既設二重床の加工が不要で短い作業時間で設置ができる

○作業性

- ・既設二重床の穴を利用しボルト締めのみで設置できる
単純な構造、設置にあたり熟練したスキルを必要としない